

一般

段級

耳に残し、

紅葉を

倂にして、

の一にして、

風

騷の

人心を

とどむ。

秋風を

便り

求しも

理なり。

中にも

此

関は

三関

〔奥の細道〕

（思いを伝える）つてを求めたのも理にかなっている。数ある関所の中でも（この白河の関は）三関の1つに数えられ、風雅の人が心を寄せる場所である。能因法師の歌を思い出すと、秋風が耳に残るようであり

